

1,100℃の情熱がいぶし瓦の常識を変えた。

洲本高温  
いぶし瓦

(有)池本工業所

取扱瓦一覧  
PDFカタログ

URL <http://www.kawara-ya.com>

E-mail [info@kawara-ya.com](mailto:info@kawara-ya.com)

# 洲本高温いぶし瓦

旧来の淡路瓦は、光沢・鑑賞性には優れていたものの、耐久性・耐寒性・吸水率に問題がありました。

弊社は、研究開発に多大な時間をかけ、特に吸水率にいたっては**3.52%**(日本工業所調査済み)という画期的な数字をもついぶし瓦の開発に成功いたしました。耐久性・耐寒性に関しましても言うに及びません。

これまでの淡路瓦において、1,100 以上での焼成不可能の原因であった、原料の粘土の調合を抜本的に見直し、1,100 以上の長時間焼成を可能としたのです。

弊社は、PL法の施工下、製造業者の責任とは、その土地・その気候の特徴に合わせた瓦の製造であると考え、精密な焼製温度設定を信条としております。また、今までは売り手側の感覚で作られがちであった瓦ですが、実際その家に住むお客様側の立場になって、お客様それぞれのご要望や、環境に対応した瓦作りも大切にすべきであると思っております。

弊社が数々の寺社仏閣で施工実績をあげました本瓦や、各種色瓦、他の瓦につきましても、もちろん従来通り取り扱っておりますし、それぞれ施工努力によって、今までより品質を高めて、現行価格のままご提供させていただいております。

ご一報いただけましたら、各瓦についてご相談をお受けし、後ほどサンプルを送らせていただきます。

なお、価格表のご依頼も頂戴するのですが、上記のような姿勢で取り組んでおりますので、その際は焼製温度のご指定をいただけましたら、価格のご提示が可能です。

どうぞ、よろしく願いいたします。

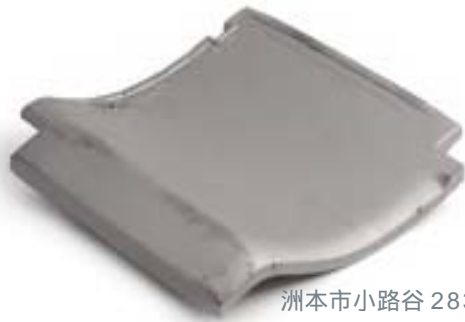
**有限会社 池本工業所** 取締役 池本利治

〒656-0023 洲本市小路谷283

tel 0799-22-2014

fax0799-22-0701

地瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

簡略葺きの地瓦

紐丸



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

写真は五寸幅ですが、ほかにも種類がございます。

平瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

本葺き用。弊社特許商品となっております。写真は面取り用のものですが、切り落ちもございます。

つけ丸



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

主に、棟・塀につける瓦。紐のつけ丸もございます。

丸瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

本葺き用。長さは多数ご用意できます。袖丸もご用意できます。

軒瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

本葺き用。弊社意匠登録製品となっております。簡略用もございます。

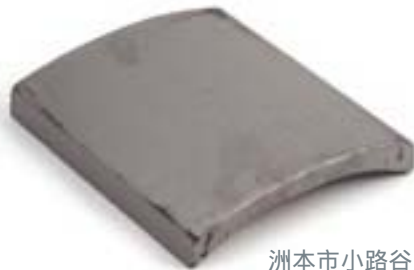
隅巴瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

写真は本葺き用ですが、簡略葺き用も  
ございます。

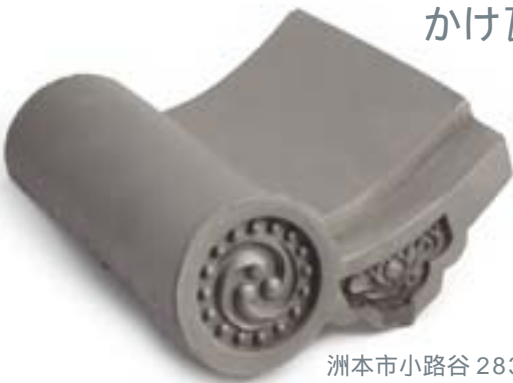
のし瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

幅、厚みは数種類ございます。

かけ瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

写真は一体型ですが、別々のものもご用  
意できます。

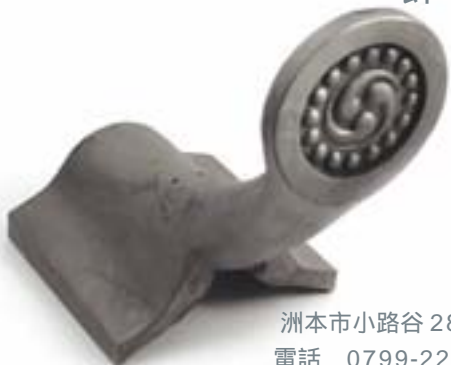
面戸瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

写真は本葺き用ですが、簡略用、隅面戸  
もございます。

飾り瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

写真はトリ瓦ですが、唐獅子・すみぶた  
もございます。

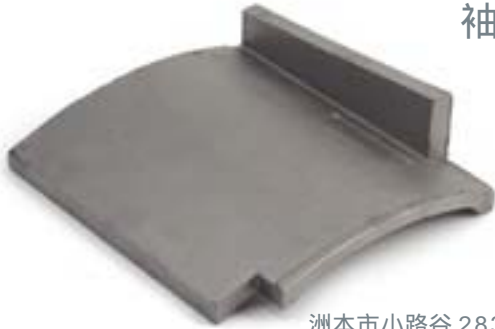
巴瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

紋入りができます。

袖瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

何種類かございます。

京の巻瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

紋入りができます。鬼面瓦もあります。

きざみ瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

何種類かございます。

洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014



登録商標取得済みです。

拝み巴瓦



洲本市小路谷 283  
電話 0799-22-2014

写真は鶴ですが亀もございます。その他、紋入り瓦もできます。

その他

塀瓦・施工の簡略化に対応できます。  
冠瓦

\*注釈

地方によっては、本葺き 京物、  
簡略葺き 和型とも言います。

最大1300 での燻成を可能にするため、平成14年、専用の燻成窯を増設致しました。

また、冷却工程におきましても、品質低下をまねく自然冷却は用いません。弊社では、各過程において、何よりも「品質」を第一に製造しております。

お客様からは、1,100 以下で燻製する一般的な瓦を取り扱っていないのかとご質問を受けますが、もちろん今まで同様取り扱っておりますし、それも施工努力により、より品質を高めて、現行価格のままご提供しています。

